

調査概要

●調査対象

国内の4年制大学16校の社会科学分野の18学部に所属する1年生と4年生1,886人
(1年生1,131人、4年生755人)、調査票配布数2,996、有効回収率63.0%

*調査対象に含まれた社会科学分野の学部は、経済学部・(総合)経営学部・現代ビジネス学部・法学部・社会学部

*大学の設置主体は、国立大学2校、公立大学1校、私立大学13校

●調査方法

学校通しの自記式調査法

- ・教室内における集合調査法
- ・教室内で調査票を配布し、家などで記入した後、学校に持参してもらう方法

●調査時期

2010年10月～12月

●調査項目

大学での授業や学習／大学生生活／友だちとの関係／日ごろの生活／大学入学以前のこと／進路・就労観／結婚観／親子関係／就職活動について など

●サンプリング

全国の大学・学部の専門分野・入学定員数等のリストから、社会科学分野の学部を抽出し(性質が特殊であると考えられたため、福祉分野と二部・夜間は除外)、それらの各学部にて、ベネッセコーポレーション「進研模試 高2生総合学力テスト11月」(2009年11月実施)の偏差値(B判定基準)を紐づけた。そして、入学定員数ができるだけ均等になるように、偏差値の上位・中位・下位の3段階で層化した。次に、大学の設置主体を国公立大学と私立大学で層化し、最終的に6グループを作成した。そのうえで、これら6グループの入学定員数が全体に占める比率を参照しつつ、大学所在地ができるだけ全国に分散するように調査対象校を抽出した(ただし一部、抽出した調査対象校で調査不可能だった場合は、同様の大学入試偏差値の大学・学部にて代理で調査を依頼)。

●サンプル構成

◇男女別

(人)	男	女	計
1年生	718	413	1131
4年生	543	212	755
計	1261	625	1886

◇設置者別

(人)	私立大学	国公立大学	計
1年生	988	143	1131
4年生	644	111	755
計	1632	254	1886

◇学部系統別

(人)	経済学部	(総合) 経営学部	現代 ビジネス学部	法学部	社会学部	計
1年生	463	47	93	349	179	1131
4年生	341	62	60	189	103	755
計	804	109	153	538	282	1886

◇大学入試難易度別

(人)	α グループ	β グループ	計
1年生	555	576	1131
4年生	304	451	755
計	859	1027	1886

*ベネッセコーポレーション「進研模試 高2生総合学力テスト11月」(2009年11月実施)の偏差値(B判定基準)において、54以上の大学の学部を α グループ、53以下の大学の学部を β グループとした。

●本報告書を読む際の注意点

- ・調査対象のうち、留学生は、社会観や就職活動状況等が日本人とは異なっていると思われるため、原則として本報告書での分析対象からは除外している(但し、一部執筆者の判断により含めている論文がある)。
- ・本報告書で使用している百分比(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示している。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。
- ・著者の所属、肩書は、報告書刊行時のものである。